

## 「家庭教育支援の充実」について



山口県教育庁社会教育・文化財課

## 家庭教育支援の主な今日的課題

### 1 すべての親を対象とする家庭教育支援

#### ■現状

・仕事で忙しい家庭や、悩みを抱え孤立しがちな家庭など、様々な課題を抱えた家庭の状況



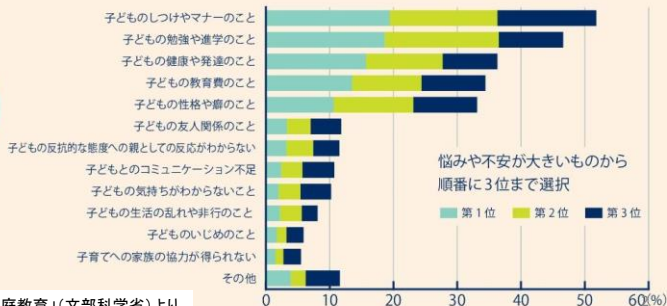
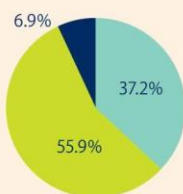
#### ■対策

・それぞれの家庭がおかれている状況を踏まえたすべての親への学習・相談支援

### 子育てについての悩みや不安

約4割の保護者が悩みや不安を抱えているようです。

■ 悩みや不安がある ■ 悩みや不安はあまりない ■ 悩みや不安はまったくない



「子どもたちの未来をはぐむ家庭教育」(文部科学省)より

## 家庭教育支援の主な今日的課題

### 2 社会全体による家庭教育支援

#### ■現状

・地域のつながりの希薄化など、地域全体で親子の「学び」や「育ち」を支える地域力の低下

#### ■対策

・地域人材の参画やつながりによる、地域の教育力の向上  
・学校・家庭・地域の連携による教育支援の充実

#### 近所づきあいの程度

👉 地域のつながりが希薄化してきている傾向があるようです。



「子どもたちの未来をはぐむ家庭教育」(文部科学省)より <sup>3</sup>

## 家庭教育支援の主な今日的課題

### 3 子どもたちの基本的な生活習慣の育成

#### ■現状

・社会の多様化や生活環境の変化に伴う、子どもたちの生活習慣の乱れ  
・学習意欲や体力、気力の低下の要因との指摘

#### ■対策

・学校・家庭・地域・企業等の連携による「早寝早起き朝ごはん」運動の全国展開による気運醸成

#### 朝食の摂取と学力の関係

👉 毎日朝食をとる児童生徒ほど、学力調査の得点が高い傾向にあるようです。



「子どもたちの未来をはぐむ家庭教育」(文部科学省)より <sup>4</sup>

## 国の動向

### 教育基本法の改正（平成18年12月）

→「家庭教育」に関する独立規定の新設

#### 第10条（家庭教育）

父母その他の保護者は、**子の教育について第一義的責任を有する**ものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

- 2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、**保護者に対する学習の機会及び情報の提供**その他の**家庭教育を支援するために必要な施策**を講ずるよう努めなければならない。

#### 第13条（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携教育）

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

5

## 国の動向

### 教育振興基本計画（平成25年6月）

→特に重点的に取り組むべき事項として

「家庭教育支援」を位置づけ

#### 豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実

（中略） **地域や学校をはじめとする豊かなつながり**の中で家庭教育が行われるよう、**親子の育ちを応援する学習機会を充実**するとともに、**コミュニティの協働による家庭教育支援を強化**する。

<主な取組>

- コミュニティの協働による家庭教育支援の推進
- 子どもから大人までの生活習慣づくりの推進

6

## 県の計画

### 山口県教育振興基本計画 平成25～29年度

#### 山口県の教育目標

～未来を拓く <sup>ひら</sup>たくましい「やまぐちっ子」の育成～

7

### 山口県教育振興基本計画（H25. 10）

#### 「地域ぐるみの教育推進プロジェクト」

地域ぐるみで幼児期から中学校卒業程度までの子どもの育ちを見守り支援する「**地域協育ネット**」を全県で推進するために、**コーディネーター等の養成**を行うとともに、**多様な人材の参画**を得ながら、活動の充実を図ります。

8

## 「地域協育ネット」のめざすもの

- 子どもたちの「生きる力の育成」
- 幼保・小・中の連携の促進
- 学校づくりと地域づくりの一体的な推進
- 家庭の教育力の向上

地域の中に仕組みをつくることにより、身近な地域で顔が見える関係が構築でき、孤立しがちな家庭に対しても、同じ立場で柔軟に活動できる人々の協力を得ながら、きめ細かな支援を行うことができやすくなります。

## 山口県の実践 ～家庭教育支援の充実～

- ①意識啓発・情報提供の推進
- ②保護者への学習機会の提供
- ③地域における相談・支援体制の充実
- ④専門家による相談・支援の充実



## ①意識啓発・情報提供の推進

### ■「やまぐち家庭教育支援強化月間」(10月)等による「家庭の元気応援キャンペーン」の展開

- ・関係機関等との連携による普及啓発活動の実施

### ■保護者向けリーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」等を通じた家庭における取組の啓発

- ・「家庭教育5つのポイント」の周知
- ・「家庭の日」(毎月第3日曜日を標準)の取組の推進
- ・「わが家のやくそく大募集」の実施

11

## 家庭の元気応援キャンペーン

「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び  
みんな仲良く今日も元気!!」



12



# 夢をはぐくむ家庭の元気（幼児期版）

## 夢をはぐくむ家庭の元気 幼児期版

～子どものすこやかな成長に向け～



このリーフレットは、子どもの「知・体・性」の調和のとれた「生きる力」を育てるために、おれおれ3歳児から小学校就学前の子どもを育てている家庭における毎日のヒントとして作成したものです。ぜひ、多くの方にお読みいただき、実践していただけるよう願っています。

山口県・山口県教育委員会・子育て支援連携推進委員会

### 幼児期の家庭教育 5つのポイント

この時期の家庭での教育は、あせらず、ゆっくりと進めていくことが特に大切です。

#### 規則正しい生活リズムを大切にしましょう

規則正しい生活リズムは、子どもの自立の基盤となります。まずは、「早寝・早起き・朝ごはん」から始めてみましょう。



#### 自分でできることは自分でさせましょう

自分でできることは、自分でできるように見守るとともに、がんばりを認め、励ますことが大切です。



#### 約束やきまりを守る心を育てましょう

子どもは、まわりの大人のまねをしています。身近な大人が手本を示し、社会のきまりやマナーを教えることが大切です。



#### 家族のふれあいを大切にしましょう

親子の会話、食事、読み聞かせなど、家族でふれあう機会を大切にしたい家庭をつつていきましょう。



#### いろいろな遊びや活動を子どもと一緒に体験しましょう

いろいろな遊びや体験をすることで、物事への興味・関心を高め、人とのつながりや自然・生命の大切さを学ぶことができます。



# 夢をはぐくむ家庭の元気（小中版）

## 夢をはぐくむ家庭の元気 ~みつめなごぞう 家庭教育~



このリーフレットは、子どもの「知・体・性」の調和のとれた「生きる力」を育てるために、家庭における毎日のヒントとして作成したものです。ぜひ、多くの方にお読みいただき、実践していただけるよう願っています。

山口県教育委員会・山口県PTA連合会・山口県小学校校長会・山口県中学校校長会

### 家庭教育 5つのポイント

#### 基本的な生活習慣を身につけましょう

基本的な生活習慣は、子どもの健全な成長の基盤であり、家庭みんなで生活習慣を確立することが大切です。



#### ルールを守りマナーを身につけましょう

大人の生活習慣や考え方が子どもの成長に大きく影響するといわれており、大人が手本を示し教えることが、子どもへの大切な学びになります。



#### 家族のふれあいを大切にしましょう

家庭は子どもの心よりどころであり、親子の信頼関係を築き、安心して進める安定した家庭をつくるのが大切です。



#### 家庭での学習習慣を身につけましょう

学習習慣を築き、学力を向上させるためには、家庭での学習習慣を身につけることも、がんばりを認め励ますことが大切です。



#### 地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう

地域の人々や自然・文化とつながることで、ふるさとに関わりを持ち、人とのつながりや自然・生命の大切さを学ぶことができます。



★読み聞かせ 先に読むのは どちらやら？

## ★リーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」の 作成・配付状況

H22 **小中版を作成** 小中学生の全家庭に配付

H23 小学校就学時健診時に配付(約15,000部)

### 幼児期版を作成

H24 小学校就学時健診時に配付(約15,000部)

幼稚園・保育所等の全家庭、1歳半健診等を利用して保護者へ配付(約90,000部)

H25～ 次年度の入学児童に配付(約15,000部)

1歳半健診等を利用して保護者へ配付(約15,000部)

- ・家庭の元気応援キャンペーンの強化月間(10月)に、ラジオを通してリーフレットの周知
- ・家庭の元気応援出前講座でリーフレットの周知

## ★わが家のやくそく大募集の状況

応募人数(H22～)

| 年度  | 小学校   | 中学校   | 計      |
|-----|-------|-------|--------|
| H22 | 512   | 168   | 680    |
| H23 | 949   | 427   | 1,376  |
| H24 | 5,010 | 750   | 5,760  |
| H25 | 6,125 | 916   | 7,041  |
| H26 | 7,593 | 2,450 | 10,043 |

- ・6～7月の市町の小学校校長研修会において「わが家のやくそく」の募集を依頼
- ・家庭の元気応援キャンペーンの強化月間(10月)の間、県庁エントランスホールや県立図書館、児童センターに実践結果を掲示



## 取組例

- やくそく：「時間をまもる。」(小1)
- 子の感想：時間通りにお勉強するのはむずかしかったけど、がんばった。
- 親の感想：時間やルールを守るといったことが、小学生として一歩でも成長できたかなと思います。

- やくそく：「自分から進んであいさつする。」(小4)
- 子の感想：自分で心がけてあいさつすることができた。
- 親の感想：以前に比べると意識的にあいさつする様子が見られるようになった。人と話すことに自信がついてきたようです。

- やくそく：「ご飯のときにはテレビをつけない」(小6)
- 子の感想：このやくそくを守ると家族との会話も増え、信頼も深まった。
- 親の感想：テレビを消していると自然と家族との会話が増え、子どもの様子や気持ちなどが分かり良いことだと思います。

17

## ②保護者への学習機会の提供

- PTAや企業を対象とした家庭教育出前講座の実施
- 家庭教育の充実に向けたPTA指導者の育成
- おやじの会の活動を通じた父親の学習機会の充実

18

## ★家庭教育出前講座の実施

- ・H15～ 企業等家庭教育出前講座(企業対象)
- ・H23～ 家庭の元気応援出前講座(幼・小P対象)
- ・年間35回程度の講座を実施
- ・H26年度…**実施数 32講座 (幼7、小23、企2)**  
**受講者累計 6,679人**

ワークショップ形式で実施

19

## ★出前講座 受講者の感想

- グループの皆さんと交流がもてて楽しかった。また同じような子育ての問題を抱えているのだということが分かり、ほっとしました。
- ワークショップで、他の人と悩みが共有でき、またいろいろなアイデアをもらえてよかったです。
- なかなか他の家庭の話聞く機会がないので、とてもよい場だったと思います。
- 大人同士のつながりも大切だなと思いました。大人同士のよい関係が、子どもにもよい仲間づくり、よい友達づくりにつながると思いました。



20

## 家庭教育の充実に向けたPTA指導者の育成

### 山口県PTA指導者研修会

- 期日 7月25日(土)
- 場所 山口南総合センター
- 内容 事例発表、講演



演題:「困難を抱える子ども・家庭への支援」  
～SSWの活動をとおして～

講師:子どもと親のサポートセンター  
SSWエリアスーパーバイザー

岩金 俊充 氏

21

## おやじの会の活動を通じた父親の学習機会の充実

### ○おやじの会

平成26年度末 190団体



### ○おやじの学校(年3回開催)

県内で活動する「おやじの会」会員が一堂に会し、相互の情報交換をとおして、活動の充実やネットワーク化を図り、**父親が家庭教育に参加する気運を醸成**

22

### ③地域における相談・支援体制の充実

#### ■身近な地域で家庭への教育支援を行う体制づくりの促進

- ・「地域協育ネット」を活用した支援のネットワークの構築
- ・家庭教育講座や家庭教育サロンの実施

#### ■家庭教育支援者の養成・活用

- ・「家庭教育アドバイザー養成講座」の開催
- ・「家庭教育アドバイザーステップアップ講座」の開催

23

### ★家庭教育アドバイザー養成講座

- ・平成18年度から実施

講座数 年8回:「必修講座」4回・「選択講座」4回  
⇒「必修4回」と「選択1回」以上の出席で修了

- ・平成26年度修了者 42人(累計 260人)

#### ■修了者の活動内容

- ・小学校の就学時健診等での家庭教育学級の講師
- ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室の支援員
- ・家庭教育講座の開催
- ・家庭教育サロンでの相談活動 等

24

## ④ 専門家による相談・支援の充実

### ■ やまぐち総合教育支援センターでの 相談・支援の充実



- 「子どもと親のサポートセンター」における相談・支援体制の強化

(相談内容) 子育て、家庭教育など子どもの教育に関する全般的なこと

(相談方法) 電話相談、来所相談、要請相談

(専門家) 臨床心理士、SSW、電話相談員

25

## 家庭教育支援の充実に向けて

すべての親が安心して家庭教育が  
行えるようにするために

地域人材の力を活かし、地域の実情や課題に沿った  
家庭教育支援の充実

### ■ 家庭教育支援者の裾野の拡大

- ・ 家庭教育アドバイザーやリーダーの養成



### ■ 身近な支援体制の一層の充実 (家庭教育支援チームの編成)

- ・ チームによる相談の場、学習の場の創出
- ・ 多様な人材の参加による幅広い事案への対応

